

和歌山大学生のみなさんへ

【和歌山県警子供見守りプロジェクト（和大グループ）の活動について】

小学生等の子供が被害に遭う事案は、重大事件に発展する可能性が大きく、また、子供に与える精神的影響も大きい事案となります。

県内においても、子供の登下校時等における声かけ事案やつきまとい事案等が依然として発生しており、その多くは下校時の時間帯に多く発生しています。

各地域では、防犯ボランティアの方々が見守り活動を行って来ておられますが、高齢化や担い手不足等の理由により、「見守りの空白地帯」が生じているのが現状です。

この「見守りの空白地帯」を少しでも減らすため、若い世代の方々の協力を得て、「ながら見守りの目」を増やしたいと考え、令和3年3月に、このプロジェクトは発足しました。

「ながら見守り」とは、「～しながら」の見守り活動を意味し、クラブ活動時の「ジョギングしながら」や「ウォーキングしながら」等もその一つとなります。

「～しながら」でも、その付近に「人」がいることで、何か犯罪を起こそうとしている不審者は犯行をためらいます。

和歌山県警子供見守りプロジェクト（和大グループ）では、

クラブ活動時にジョギング等をしながら、直近のふじと台小学校の下校時間帯を中心に、通学路等において「ながら見守り」活動

を行っていただき、参加者の方には「不審者等を見つけた際は自身で対応せず、すぐ110番」とお願いしています。

決して、定期的に行うことを義務化するものではなく、クラブ活動の時間帯と下校時間帯が合いそうな時にできる範囲内の活動で全然構いません。

令和5年度は、

アメリカンフットボール部 29人

が参加登録してくれました。



令和6年度も、多くの学生さんがこの活動に参加していただけることを期待しています！！地域の子供見守り活動にみなさんの力を貸してください！！

※ 参加していただける方は、団体ごとにとりまとめて学生支援課さんまで報告してください。



和歌山県警察本部
生活安全企画課 犯罪抑止総合対策室

和歌山県警子供見守りプロジェクト (和大グループ)



背景

- ・県下の小学生を対象とした声かけやつきまとい等の前兆事案情報は、下校時(午後2時から午後6時までの間)が多い(R2.10末 県下全体の小学生以下の前兆事案の48%)
- ・地域の防犯ボランティア団体等も見守りを行っているが、未だ声かけやつきまとい等の不審者情報がある

目的

- ・地域の安全・安心のためには、「地域の目」を増やし、「見守りの空白地帯」を減らす必要がある
- ・大学生・地域住民との協力により、地域ぐるみで地域を守る体制づくりを行う

活動内容

- ・ながら見守りの際には、専用のビブス若しくはタスキを着用し、小学生の下校時間(可能であれば午後3時30分から午後5時までの間、その他の時間帯も可)に、藤戸台小学校の通学路をクラブ活動の一環として、ながら見守り(ランニング等)をする
- ・不審者を発見すれば、警察へ通報
(自分からは、声かけや相手に接触はしない)



- ・ながら見守り参加者には、警察本部から修了証を交付
- ・年度末には、参加クラブ単位で警察本部から感謝状を贈呈

子供たちの安全・安心を確保